

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------------------|--|-----------|---|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 18 /23 /37 | 入居者間のトラブルや入居者の不穏の原因に対して、起こった事柄への対処になっているところがある。また寄添うケアについても、偏った方に対してのものになっている。 | 座って会話をする。 | 介護における三大介助(食事・排泄・入浴)の次に『利用者に寄添うケア(認知症ケア)』に重点をおき、本人の想いに寄り添いながら、ニーズを汲み上げ、「なぜそうなるのか」、「どうするのが最善か」を想いを前提に対応していけるケアをしたい。 | 12ヶ月 |
| 2 | 25 /38 | フロアでの「騒音」や「ざわつき感」は、職員ひとりひとりが作り出しており、その空気感が入居者へも伝染し、その場から離れたい想いや行動(不穏)を作っている。 | 心にゆとりをもつ。 | 職員一人ひとりが、「気持ちを穏やかに」を心掛けて行動し、業務にあたる。「ざわつき感」を感じた際は、職員同士で声を掛け合いながら、「深呼吸をして、いったん落ち着こう!」または入居者に寄り添い「お茶を飲みましょう」など、焦る気持ちをリセットし、心にゆとりをもてる状況をみんなで意識する。 | 12ヶ月 |
| 3 | 19 | 面会に度々来て下さるご家族との関係性は、良いと思われるが、面会の少ない家族への対応が課題である。また電話での連絡の際も、問題行動などの報告になっている事もあり、家族を不安にさせているかもしれない。 | 喜びを共有をする。 | 電話でのご家族への連絡の際も、入居者が日々どのように過ごされているか、良かった事、嬉しく感じたことなど、報告していく。 | 12ヶ月 |
| 4 | | | | | ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。